

成熟する西神ニュータウンと NPO コミュニティかりばの役割

西神ニュータウン研究会 第231回例会

講演者 和田 真理子 氏 (兵庫県立大学 国際商経学部 准教授)

孤独は健康に害を与えることが近年の研究で明らかになっており、全世代にとって近隣コミュニティが機能していることの重要性が高まりつつあります。今回の対象地域である西神ニュータウンはまちとして自立性が高く、地域への愛着を持った自立した人々が誇りをもって生活しています。

このような地域で近隣のつながりを高めるにはどうしたらいいでしょうか。自治会でも民間企業でもないからこそ、できることがあるのではないのでしょうか。狩場台・糶台地区で活動するNPO コミュニティかりばと行ったアンケート調査から考えます。

○日 時 2023年9月19日(火) 18:00 ~ 20:00

○場 所 UNITY (大学共同利用施設) 特別会議室
ユニバープラザ2階 (地下鉄「学園都市」駅前)

○会 費 年会費 1,000円
当日のみ参加 200円



西神中央、西神南、学園都市からなる西神ニュータウンを中心に、ニュータウンの過去、現在、将来について住民主体で意見交換する西神ニュータウン研究会では、例会を毎月開催しています。例会参加者には、「西神ニュータウン路上探検！おもしろマップ(1、2)」をさしあげます。

西神ニュータウン研究会 〒651-2103 神戸市西区学園西町1-1-1 UNITY内

TEL: 078-794-4970 FAX: 078-794-4910

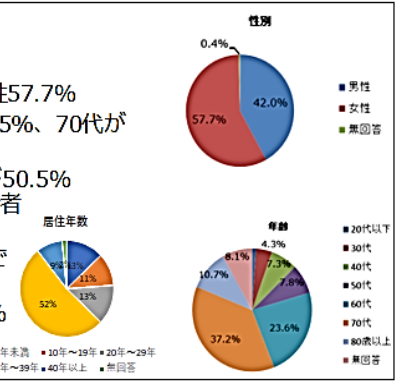
<https://seishin-ntken.net>

「狩場台・糞台地区における暮らし・居場所調査」報告

兵庫県立大学 国際商経学部
和田 真理子

回答者

- Q1 男性42%、女性57.7%
- Q2 65歳以上が63.5%、70代が37.2%と最も多い
- Q3 夫婦のみ世帯が50.5%と半数を占め、単身者が10.7%
- Q7 30年以上住んでいる人が61.3%
- Q8 一戸建が69.7%



近隣コミュニティの重要性

- 孤独は健康に害を与える
孤独は毎日タバコ15本を吸うのと同等の害を健康に与える一人であることと孤独は違う
- 良い住環境、子育て環境と仕事を求める20代、30代
※子どもは小学校区レベルのコミュニティで育つ
- ライフスタイルの複線化で地域デビューを模索する50代、60代
- 高齢化で行動範囲が狭まる70代、80代
※全世代にとって近隣コミュニティが機能していることが大事

二層の居場所

- 西神ニュータウンではあっさりした付き合いを求める人も多い
→二層の居場所が必要
- 第一層：広い意味での居場所（必然的に顔を合わせやすい空間を作り出し、ゆるやかにつながりやすいこと）
- 第二層：狭い意味での居場所（ふれあいの場）
※第一層でより多くの人と場を共有して顔見知りになり、必要に応じて第二層に発展
※二層の居場所づくりにコミュニティがりが役割を果たせるのでは

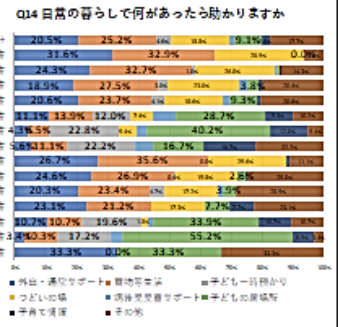


狩場台・糞台地区の特性

- 一戸建中心、成熟し安定したまちであり、住民の住み続けたい意向、満足度は高い
- 自立し充実した生活を送る人々/つながり・信頼関係（ソーシャルキャピタル）には向上の余地あり
- 生活機能に加え、職場も充実
- 15分圏内（徒歩、バス、自家用車）に西神中央
- 工業団地その他のさまざまな雇用
※「職住近接の自立都市」になりつつある
- 高齢化が43%と進んでいる一方、子どもは増える傾向

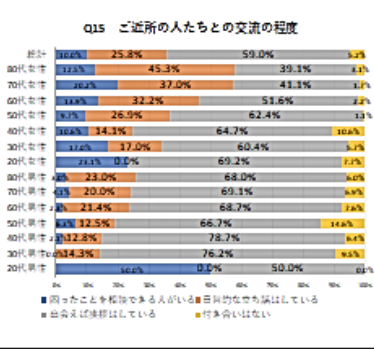
日常の暮らしである と助かること

- 買物等生活が最も多く25.2%、外出・通院、つどいの場が続く
- 年齢で大きく異なり、30〜40代は子どもの居場所が圧倒的に多い
- 50代で大きくニーズが変わり、生活サポート、つどいの場が増える
- その他は、近くの飲食店や自習室を求める声



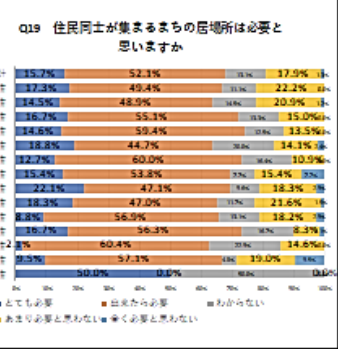
近所の人たちとの交流の程度

- 全体で6割近くが挨拶程度の付き合い
- 年齢とともに「立ち話」が増える
- 男女で大きく異なり、特に60代以上は差が大きい
- 「立ち話」以上の関係は、70代以上の女性は約6割だが、男性は80代でも26%



まちの居場所は必要 だと思いますか

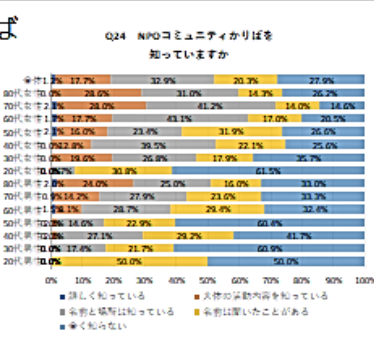
- 「とても」「できた」で67.8%
- 40代がやや低いものの若い人が無関心ということはない
- 「あまり必要と思わない」「全く必要と思わない」はむしろ高齢者のほうが多い



コミュニティがらば を知っていますか

—性別・年代別—

- 「名前が聞いたことがある」まで何らかの形で「知っている」が69.7%、「全く知らない」は27%
- 全く知らない人は全世代で男性が多く、30代、50代男性で6割に達する



知っている活動

- 全世代で自転車修理店の認知度が高い
- 30〜50代女性はフリマボックス、30、40代女性と40代男性は七夕ビアガーデン
- お困りごとサポートはあまり知られていない
※生活サポートのニーズが高いことを考えると開拓の余地が大きい

